

HOT & ほっと

あやせのこと、何でも知りたい…

市内のちょっと珍しい文化財を紹介②

巡礼街道

— 後編 —

県内には9つの札所があり、第1番杉本寺(鎌倉市)や第14番弘明寺(横浜市南区)と第8番星谷寺(座間市)をつなぐ道が綾瀬市内を通っています。

巡礼街道の特徴と道

江戸時代は基本徒歩で移動していました。そのため、幕府公式の街道ではない巡礼街道は、効率的で歩きやすく、最短で目的地に至ることができる道をつないで作られました。必ずしも各村の中心地を通るわけではありませんでしたが、食料確保や急な悪天候への対応などができるように、村の近くを通っていたようです。綾瀬市内も例外ではなく、巡礼街道は当時の蓼川村原分北東の畑の端を通っており、南西側には蓼川村原分の家々が並ぶ通りがありました。

巡礼街道は、村との距離や渡れる程度の川幅であること、水分・食料の確保ができる場所が近いこと、高低差が少なく先が見通せるような場所を選ぶことなど、当時の人々の道に対する工夫をみることができます。道に迷わないように、街道の目印には、橋や坂、石造物が使われていました。現在でも、星谷寺から蓼川3丁目20番付近までは当時の道筋が残っているところが多く、歩きながら当時の道の特徴や雰囲気を実感することができます。

巡礼街道を知っていますか。巡礼街道とは、坂東三十三観音の札所を巡る巡礼者が通った道のこと、現在も各地にその痕跡が残っています。今回は、綾瀬市内と周辺に残る巡礼街道の特徴や痕跡について紹介します。

☎生涯学習課 ☎70・5637

歴史を感じる巡礼街道

巡礼街道以外にも、綾瀬市内には多くの街道が通っており、昔から人の往来が盛んな場所だったことがわかります。長い期間にわたって人々が思いを胸に歩いた道は、現代でも生活に欠かせない道として日々さまざまな思いを運んでいます。普段なにげなく使っている道の歴史を振り返ると、新しい綾瀬の魅力に出会えるかもしれません。巡礼街道の文化財標柱の位置は、あやせウォークガイド②塩つけ道コースに掲載されています。同ガイドについては、同課へ問い合わせるか、市ホームページをご覧ください。



あやせウォークガイド
現地の文化財について、解説しています。

①第8番星谷寺(座間市)

門前には坂東八番と表記されています。②～⑦は宮久保橋からここまでの道中です。



③蓼川3丁目20番周辺に残る巡礼街道のなごり

蓼川村原分を斜めに通る道です。道の大半が厚木基地の中にあり、同基地内には道筋は残っていませんが、柵から北側は当時の道が現存しており、たどることができます。



⑤東名高速道路から水頭方面

④から水頭への道です。大和市側から続いていた相模原台地を一度下り、水分補給場所を経由して座間方面へ向かいます。



⑦巡礼坂・巡礼橋(座間市)

相模原台地を下り、目久尻川を挟んで座間丘陵に続く道です。高低差が激しい道ですが、明治期の地図を見ると、歩きやすく安全にかつ最短で座間丘陵上へ行ける道だったことがわかります。ここから星谷寺に至る道中は、巡礼者の歩いた地形や道筋の多くが昔のまま残っています。



②大和市から厚木基地東門方面

大和市側から引地川を挟んで厚木基地のある相模原台地へと続きます。弘明寺側から来た巡礼者はここで台地上に上がりました。



④市内の巡礼街道と文化財標柱

蓼川3丁目18番周辺から水頭方面に通る東西の道です。東名高速道路で一部途切れていますが、道筋は江戸時代から変わらず、巡礼街道の雰囲気が分かる場所です。



⑥水頭から北上する谷底の様子

写真右側の水頭は、出合頭・台頭ともいわれている、蓼川の水源地です。相模原台地の谷地で、古くから水の湧く場所でした。巡礼者の水分補給場所だったと考えられます。弘明寺側から来た巡礼者は、谷底を北上して座間方面へ歩きました。現在も谷底の様相が残り、当時をしのぶことができます。



⑧天保12(1841)年 蓼川村上分絵図(個人所蔵)

北東に描かれた斜めの道が巡礼街道です。交差する道に並ぶ家々が蓼川村原分の集落です。



⑨蓼川1541付近の廻国供養塔

宝暦2(1752)年に建立された石造物です。巡礼街道の目印となりました。



あやせわーどれぼーと 異文化の理解に向けて(中国の基礎知識編)

市内に暮らしている外国人市民で5番目に多いのは、中国国籍の方です。7月1日現在で270人となっていて、外国人市民の6.5%を占めています。

日本の約26倍の面積を持つ中国は、世界最大の人口を有しており、日本の約11倍の14億人余りが生活しています。

中国は、人類史上最大の建築物と名高い世界遺産の「万里の長城」をはじめ、豊富な観光資源を持っています。1日約7千人の日本人が訪れる一方で、来日する中国人の数は、2017年に736万人と過去最高を記録するなど活発な交流があります。

経済面では、1972年の日中国交正常化や国内のグローバル化の進展、バブル景気を背景に、仕事や留学のために多くの方が来日しました。

こうした1970年代以降に来日した中国人を中心とする「ニューカマー」と呼ばれる人々は、現在も貴重な人材として活躍の場を広げています。

☎企画課 ☎70・5657



万里の長城

【広告】

一生懸命
ただ、それだけです。

外壁塗装・屋根塗装・増改築・リフォーム 専門店
職人 集団 **株ウイングビルド**
0120-45-7775
神奈川県綾瀬市深谷中8-1-12 PayPay
ウイングビルド 株式会社 日本建築塗装職人の会 公式加盟店

【広告】

今年で26周年あやせ名産品会

高座豚手造りハム 〒252-1124 吉岡2366-8 TEL. 0467(76)8611	大久保商店 〒252-1125 吉岡東5-2-14 TEL. 0467(78)0010	パレド・モンパル 〒252-1104 大上1-23-19 TEL. 0467(76)7488
矢部商店 〒252-1121 小園1312 TEL. 0467(78)3591	鈴保養鶏園 〒252-1113 上土棚中4-10-40 TEL. 0467(70)2011	お問合せは 各店舗にお願いします あやせ名産品会事務局 (綾瀬市役所商業観光課内)